

向こう1か月の天候の見通し

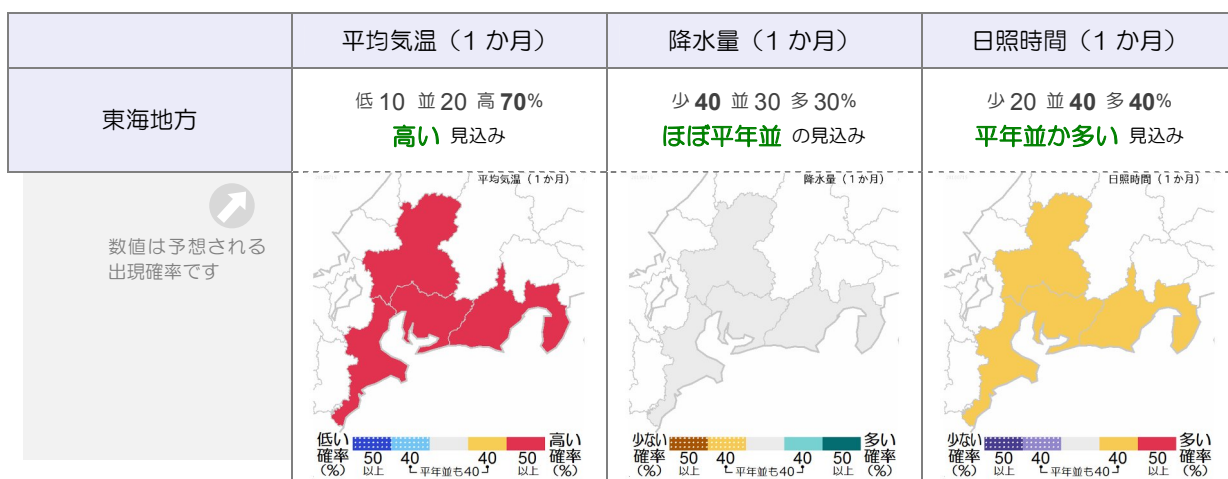
東海地方（7月21日～8月20日）

名古屋地方気象台

予報のポイント

- 期間の前半は、気温のかなり高い状態が続く見込みです。熱中症対策など、健康管理に注意してください。
- 太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の日照時間は平年並が多く、向こう1か月の気温は高いでしょう。

1か月の平均気温・降水量・日照時間



週別の天候

(1 週目) 7/21～27	(2 週目) 7/28～8/3	(3～4 週目) 8/4～17
太平洋高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。期間を通して、最高気温が35度以上となる所がある見込みで、熱中症対策など健康管理に注意してください。	太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温の高い状態が続くおそれがあります。引き続き、熱中症対策など健康管理に注意してください。	太平洋高気圧に覆われやすく、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

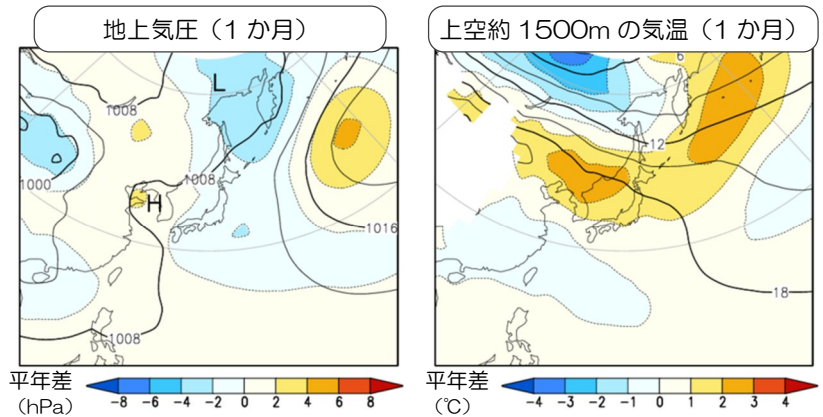
週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 7/21~27	平均気温（2 週目） 7/28~8/3	平均気温（3~4 週目） 8/4~17
東海地方	低 10 並 10 高 80% 高い 見込み	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3~4 週目）
	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並か 40 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並か 40 高い確率 (%) 40 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 7 平年並か 40 高い確率 (%) 40 50 以上

地点の気温グラフ（1 か月前から 1 か月先までの実況と予想を、1 年前及び平年とあわせて表示）は、気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php> で公開しています。

数値予報モデルによる予測結果

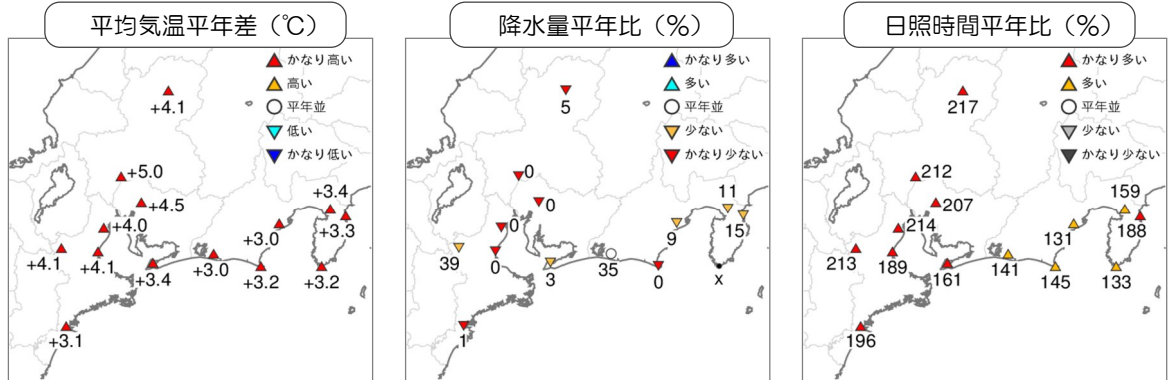
1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本付近は平年との隔たりが小さい予測となっています。
 上空約 1500m の気温（右図）は、平年に比べ、北日本から西日本は明瞭に高く、沖縄・奄美ではやや低い予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 7/12~18

12日に湿った空気の影響で雨が降った所があったほかは、晴れて気温のかなり高い日が続き、最高気温が35度以上の猛暑日となった所が多くありました。18日には岐阜県内で最高気温が40度を越えた地点がありました。また、日中の気温上昇で大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となった所がありました。



(実況) 7/12~18	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東海地方	+3.7℃ (かなり高い)	9% (かなり少ない)	179% (かなり多い)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
東海地方	平年差: -0.3~+0.6℃	平年比: 60~107%	平年比: 95~113%
名古屋	27.7~28.4℃	59.7~135.0mm	167.8~203.3 時間

	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
東海地方	平年差: -0.5~+1.0℃	平年差: -0.3~+0.8℃	平年差: -0.2~+0.6℃
名古屋	26.7~28.4℃	27.4~28.8℃	27.6~28.7℃

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
名古屋	16.9 日	7.8 日	3.9 日	2.3 日	4.3 日	1.9 日	8.7 日	3.7 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い(少ない):平年並:高い(多い))	解 説
高い(多い) 確率が 50%以上	高い(多い) 見込み
(20:40:40)	平年並が高い(多い) 見込み
平年並の確率が 50%以上	平年並の見込み
(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	ほぼ平年並の見込み
(40:40:20)	平年並が低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が 50%以上	低い(少ない) 見込み